

秋の虫づくり

雑木林の木の枝を使って、昆虫を作ってみよう。
作りながら昆虫の体のしくみも観察してみよう。

開催日時 9月29日(日)
午前9時30分から11時30分まで
講師 田中 旻
定員 15名
開催場所 森林科学館
持ちもの せん定ばさみ、切り出しナイフ
主催 長坂あぜ道の会
入館料 大人400円・小中学生200円
(町内中学生以下無料)

棚田の収穫祭

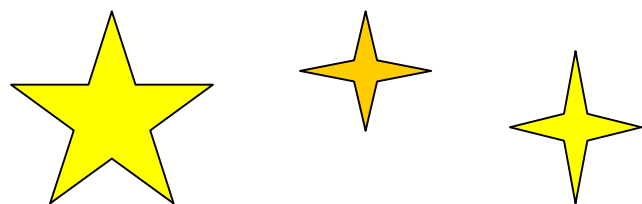
棚田でアイガモ農法により、りっぱに育った古代米の稲刈りをします。収穫のお祝いにお餅を試食します。

開催日時 10月20日(日)
午前10時から12時まで
協力 長坂町名水アイガモ米生産組合のみなさん
定員 30名
開催場所 日野春農村公園(オオムラサキ自然公園隣り)
持ちもの 作業のできる服装
雨天中止
主催 長坂あぜ道の会

秋の星空散歩

秋のすんだ夜空の下で美しい星たちと会いましょう。
当日は、アンドロメダ銀河・ペルセウス座の二重星団・ペガス座の球状星団などの星たちをめぐります。

開催日時 11月2日(土)
午後7時から9時まで
講師 牛山 俊男
定員 20名
開催場所 長坂町 秋田小学校校庭
持ちもの 懐中電灯、寒くない格好で(防寒着)
*雨や曇りの場合には中止



イベント情報

木版画の世界

=坂本孝夫 木版画展=
自然の姿を版木に彫り込む木版画。ひとりひとり、その絵を育てるように彫られた坂本孝夫氏の作品を約30点展示します。

開催期間 9月28日(土)から
11月24日(日)まで
開催場所 森林科学館
入館料 大人400円・小中学生200円
(町内中学生以下無料)

森の工作教室

鉛筆立、生きもの、おもちゃなど自分で考えながら自然木を使って作ってみよう。

教室が開いている日と時間
10月19日(土)27日(日)
午前10時~12時
講師 田中 旻
開催場所 森林科学館
服装 作業のできる服装
入館料 大人400円・小中学生200円
(町内中学生以下無料)

キバナアキギリ



お問い合わせ・お申込は

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
長坂町オオムラサキセンター
TEL&Fax 0551-32-6648
URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

オオムラサキ通信



発行:平成14年9月20日
編集:長坂町オオムラサキセンター
〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
TEL&Fax 0551-32-6648

No.53

オオムラサキ博士になろう!

このコーナーでは、身近な自然のことや知っているようで知らない昆虫のことなどを紹介していきます。

森林の役割 その一 保水機能

近年、地球温暖化や野生生物の絶滅、公害・災害の顕在化により、森林の持つ役割はこれまでの木材生産という一面的なものではなく、多様なものへと変わっています。一方、生活水準の向上により国民の森林に対する関心が高まっています。今月号から数回に渡り、注目されつつある森林の役割について紹介します。

健全な森林では洪水や土砂崩れなどの災害が減少する傾向があります。このため森林には優れた保水能力があるといわれていますが保水力の秘密とは一体何なのでしょう?

最近、自然観察会などで医師が使う聴診器を木の幹に当て、水を吸い上げる音を聞こうという体験会が開催されていますが、実はこれ、とんでもない誤解です。もし音に聞こえるほど木が水を吸い上げたら、溪流に流れる水はなくなってしまふでしょう。勿論、雨水の一部は木が吸収しますが、その量は森林の保水量の中ではわずかです。

木の枝や枯葉などが林床に積もってきた腐葉土は、土壌の中に無数の隙間を作ります。また、土壌にはそのような有機物を食べたり隠れ場所とする多くの土壌動物がいます。モグラやヘビなどの大きな動物から、カブトムシ・セミの幼虫、ミミズなどの小動物まで多種多様です。従って森林の土壌は、彼らが掘った大小のトンネルでいっぱいです。これらの隙間こそ、実は豊かな保水力の源となるのです。雨水はまず最初に隙間に溜まり、それから人間の目にはつかない速さでゆっくりと溪流へと移動します。このため土砂災害が減少するのです。

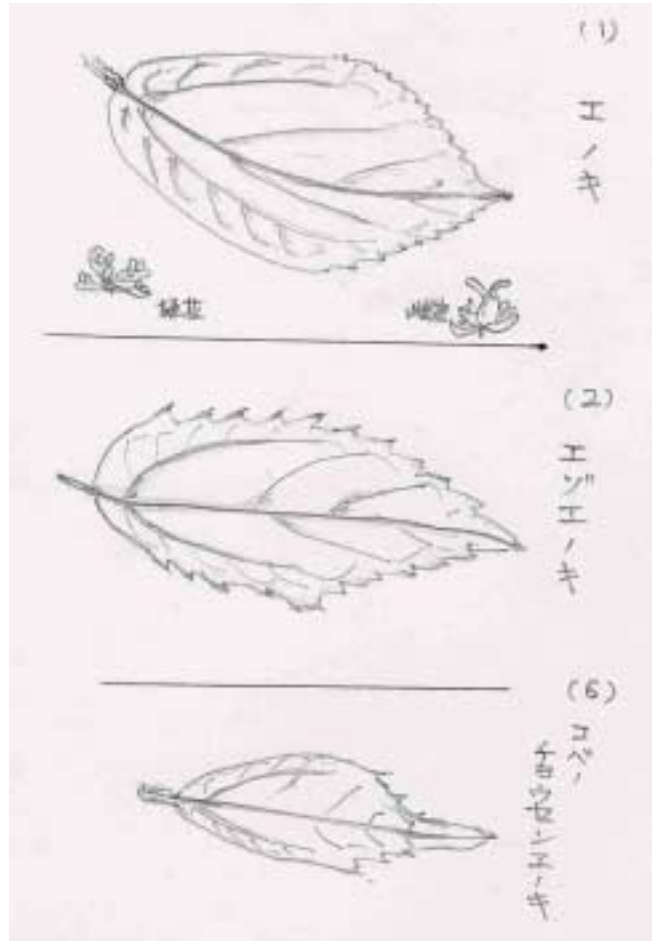
保水力は森林の状態によって変わります。一般に樹齢が高い森林ほど保水力は豊かですが、植林して間もない若い森林では極端に低下します。植林直後は植樹の際の掘り起こしで土が軟弱なこと、林床に下草も少ないこと、木の枝の張り出しが不十分で雨水が直接地面に当り易いこと、林床に堆積する有機物が乏しく、土壌動物が少ないことなどから雨水が溜まりにくいのです。

森林の保水力とは個々の木の力だけでなく、木とそれを支える土壌と有機物、さらにそこに生活する土壌動物など生態系の賜物なのです。森林の様々な役割を理解するには、森林の生態を正しく観る眼が必要です。(文責/小林隆人)

ホトトギス



エノキコーナー vol 17



このコーナーでは、オオムラサキ自然公園の今(Now)のとおき
(Best)の魅力(Attractiveness)を15連発(今回は)で紹介して
いきます。お楽しみに!!(9月19日確認)

オオムラサキの3齢幼虫と4齢幼虫が観察できる
よ!頭のYの字の角に注目。(写真を見てね)
トンボがいっぱい飛んでいるよ。
トンボをムシャムシャ食べているカマキリに遭遇したよ。
トカゲがいっぱい。急に草むらに隠れたりするのでビックリ
虫の声が聞こえてきて……。大合唱しているみたい。
ツマグロヒョウモン、アゲハ、キアゲハの幼虫が順調に育っ
ているよ。
古代米の花が咲き、来月には収穫できそうです。
アイガモは野犬などに襲われ、あと一羽になってしまいまし
た。とても残念です。
ソバの花が咲いてきれいです。白い小さな花です。
青いどんぐりが落ちてきた。
葉っぱの色が変わってきている。
秋風で木の葉や実が落ちてきている。クリがとりごろ。
ミゾソバ、ツリフネソウ、ヤマトリカブト、アケボノソウ、
ゲンノショウコ、ミズヒキ、キバナアキギリ、ユウガギク、
ノコンギク、ホトトギスなどなど、きれいな秋の花が咲いて
いるよ。
何日か雨が続いたのでキノコがいっぱい出てきたよ。
ここ何年か見かけなかったネジバナを見つけた。うれしい!!

エノキの雑記帖

エノキの仲間かというとエノキ・エゾエノキでニレ科である
ーだと思っていましたが、トンデモナイ。必要があって森林家必
携をめくったところ、エノキ属には九種あったのです。

(注・1～9・特性一部略)

1)エノキ(メムクノキ・エ・榎・朴仔樹)

落葉高木、葉楕円形、上半部細鋸歯、葉本より2大支脈を分ちやや
3行脈、果実黄褐色、暖帯・本州、四国、九州、琉球、朝鮮、台湾、

2)エゾエノキ(オクエノキ・オクジリエノキ)

葉質やや薄、花梗長、果実黒熟、北海道、本州、四国、朝鮮、

3)シダレエノキ

枝条懸垂、本州中部

4)コバノエゾエノキ

葉 早落性、本州

5)オガサワラエノキ

小笠原諸島

6)コバノチョウセンエノキ

本州、九州、

7)チュウゴクエノキ

葉倒卵状長楕円形、果実黄熟、本州、

8)ナンヨウエノキ

豪州、太平洋諸島、パラオ、ヤップ島

9)アメリカエノキ

カナダ北米、メキシコ

漢字で「榎」榎のその訳は?

その昔五街道が作られたころ、江戸から一里(4k)ごとに九
間(16m)四方余り塚を築き旅人の目安と休息場所としエノキ
を植えた。夏、木の葉がしげり日陰となって喜ばれた。古事にち
なんで《木へんに夏とかいてエノキ》

♪むかしのひとがいました。♪

自然とオオムラサキに親しむ会 朝日 竹夫

N・B・A・20!



オオムラサキの3齢幼虫(左)と4齢幼虫(右)
特に角が違うでしょ!!(9月18日現在)

木を彫ってみて

8月18日(日)から25日(日)まで長坂町森林科学館において木版画家の坂本孝夫さんを講師にお招きして親子3
2名が参加し「里山の工作教室」と題して木版画教室が行なわれました。

彫刻刀を持つのが初めてという子どももいて手を切ってしまうのか心配して見ていましたが、ケガもなく素晴らしい作品ができました。一枚の和紙に版画が刷り上ると和の世界に心を打たれたようです。

講師の坂本さんの木版画展「木版画の世界」を9月28日から11月24日まで開催します。ぜひ、お越しください。

棚田にソバをまきました。

8月25日(日)日野春農村公園の棚田において親子
12名が参加し「棚田にソバをまきましよう」が行なわ
れました。残暑が厳しい日でしたが、さくを切る人、種
をまく人と二人一組になりまきました。作業の後は地元
三分一湧水の蕎麦屋さんのソバを試食し無事育ってく
れることを願いました。

ソバは、9月19日現在背丈が50cmくらいできれい
な白い小さな花が咲いています。ぜひ見に来て下さい。

ギターの音色♪

コンサートの様子



長坂町森林科学館において9月14日(土)峡北・
北杜高校のギター部27人が「秋のギターコンサー
トINナガサカ」と題してリチャード・クレイダー
マンの「愛の旋律」の重奏やバロック風「春よ来い」
の合奏など計12曲を演奏してくれました。参加し
た親子約70名は秋風が通り抜けるホールでギター
の音色を楽しみながら聴きました。

あなたは、ギターの重奏や合奏を聴いたことがあ
りますか?ぜひ、次の機会にはギターの繊細な音が
幾重にも重なって生まれる美しい、迫力のある演奏
を聴いてみて下さい。

秋の草花や木の実を絵に

9月16日(月)長坂町森林科学館において画家・絵本作家の城谷英男さんとデザイナーの岡村芳江さんを講師にお
招きして親子10名が参加し「棚田のお絵かき」が行なわれました。当日は雨が降ってしまい棚田で絵を描くことができ
ませんでしたが、室内で公園内に咲いているコスモス、ススキ、ワレモコウ、ソバなどの花やガマズミの実を絵に描いて
いました。城谷さんは「紙の大きさや上手に描くといったことにとらわれずに、描きたいだけいっぱい描いてください。」
と話して下さいました。棚田ではソバの花が咲き、アイガモ農法で育った古代米が実りはじめ日本の原風景が広がってい
ます。芸術の秋、みなさんも絵を描きに来ませんか。

長坂オオムラサキクラブおめでとう

長坂町の小中学生でつくる長坂オオムラサ
キクラブが地道な環境保全活動などが評価さ
れ、コカ・コーラ環境教育財団の第9回環境
教育賞奨励賞に選ばれました。全国から69
団体推薦され、同クラブは山梨県内で唯一の
受賞でした。このことを励みにこれからも活
躍してほしいですね。



真剣にススキの絵を描いています。